

平成25年度
外部評価報告書

八街市行財政調査会

報 告 書

八街市長 北 村 新 司 様

八街市行政評価における平成24年度事務事業について、外部評価を実施し、
評価結果を取りまとめましたので報告いたします。

平成25年12月19日

八街市行財政調査会

会 長	関 谷	昇
副会長	京 増	良 男
委 員	土 田	宏 昭
委 員	林 田	博 之
委 員	治 部	登美子

1. 八街市行財政調査会（外部評価）の概要

（1）調査会の目的

八街市が実施する行政評価において、事務事業評価の客観性や透明性を確保することを目的に外部評価を実施した。

（2）調査会の役割

調査会の役割は、学識経験や市民の立場で、市が行った内部評価の考え方や指標を点検・検証し、市の事務事業についてより効果的で効率的な行政運営に向けて改善策等を提言するとともに、市の行政評価制度の推進に関する事について、意見や提言を行うことである。

（3）委員構成

学識経験者や市民としての立場から事務事業を点検・検証するため、委員は以下の5人で構成している。任期は平成27年6月24日までである。

役職名	氏名	所属等
会長	関谷昇	学識経験者（千葉大学准教授）
副会長	京増良男	学識経験者（元八街市監査委員）
委員	土田宏昭	学識経験者（元千葉県庁職員）
委員	林田博之	学識経験者（元富里市職員）
委員	治部登美子	市民代表（市民団体共同代表）

（4）評価の進め方

調査会で評価する事務事業については、原則、全事務事業を対象とするが、市に裁量の余地がない事業、また、外部評価に適さないと思われるもの等を除いた事業の中から選定した。

今年度は、外部評価制度導入初年度であることから、各部等から最低1事務事業を選定し、外部評価の進め方などを含めこの調査会の中で検討しながら時間をかけて行うため、11の事務事業について外部評価を実施した。

外部評価に際して次の手順で行った。(1事務事業70分)

1. 担当課より、事務事業評価シートの事業概要・実施状況・事業の評価などの説明を受けた。
2. 不明な点、疑問点を委員より担当課に質問した。
3. 担当課退席後、委員により議論し、評価結果をとりまとめ、調査会として「拡充」「現状維持」「手法等を見直し継続」「事業の縮小」「他事業と統合又は廃止」のうち、どれが妥当か判断した。その際、評価についての意見(コメント)も併せてとりまとめた。

2. 調査会の取り組み

(1) 会議の経過

会 議	日 時	内 容
第1回	平成25年6月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ○経過と設置条例の説明 ○調査会の運営について ○調査会の進め方と今後のスケジュール ○八街市行政評価の概要 ○講演「自治体の現状と課題」
第2回	平成25年9月25日(水)	<p>【外部評価対象事務事業ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公用車管理費 ○敬老会事業 ○金婚式 ○長寿祝金支給事業
第3回	平成25年10月31日(木)	<p>【外部評価対象事務事業ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リサイクル推進費 ○クリーンセンター・処分場管理運営費 ○ごみ収集処理事業費 ○焼却炉維持修繕事業費
第4回	平成25年11月14日(木)	<p>【外部評価対象事務事業ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公園緑地管理費 ○体育振興費 ○市民体育祭運営費
第5回	平成25年12月19日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ○外部評価報告書の内容確認 ○市長へ外部評価報告書提出 ○翌年度外部評価の取り組みについて

(2) 評価結果

市の内部評価と行財政調査会による外部評価結果については以下のとおり。

(外部評価選定事業)

事務事業名	内部評価	外部評価
公用車管理費	手法等を見直し継続	手法等を見直し継続
敬老会事業	現状維持	事業縮小
金婚式	現状維持	廃止
長寿祝金支給事業	現状維持	事業縮小
リサイクル推進費	現状維持	手法等を見直し継続
処分場管理運営費	現状維持	現状維持
ごみ処理収集運搬業務	現状維持	手法等を見直し継続
焼却炉維持修繕事業費	現状維持	現状維持
公園緑地管理費	拡充	手法等を見直し継続
体育振興費	現状維持	他事業と統合
市民体育祭運営費	現状維持	他事業と統合

(3) 外部評価の総括

①事務事業評価シートについて（シートの書き方、説明内容等）

- ・事業の成果とコストが対応していないものがあつた。
- ・よいと思う。
- ・担当者評価を5項目に分けているが、必要性、有効性、妥当性の3項目は、共通点を持っていると考えられるので、まとめてもよいと思う。
- ・効率性の評価の部分で人件費の記述があるが、事務事業のコストでは人件費の記載がない。
- ・事業費については、3年分が出ており理解しやすいのでこの形式がよいと思う。

②担当者の説明・応答について（担当課による説明及び回答方法）

- ・今後の方針について、さらに詳しく説明してもらえるとよいと思う。
- ・よいと思う。
- ・例えば、クリーンセンター処分場管理運営費については、クリーンセンターの性能、能力などの基本情報が足りない。特に、クリーンセンター建設と業務委託の関係については、単に3か年のみ比較だけではなく、設置以来の情報も判断するうえで必要性があると感じた。特に修繕工事の経緯。
- ・前もって質問書を出しており、それに対応しているので効率的な質疑応答ができていると思う。

③1事業の時間配分について（70分）

- ・妥当である。
- ・時間配分はよかった。
- ・時間経過が把握しやすいので、区切りよく1事業60分で納めることにしたらよいと思う。
- ・方向性を出すことが主なので、適当である。
- ・思ったより話し合いができたので、現状でよいと思う。

（4）外部評価にあたって感じたこと

①外部評価制度について

- ・事業ベースだけではなく、関連事業をまとめて評価する方式に変えるべきである。
- ・この制度をさらに検討され、継続されたらよいと思う。
- ・第三者の眼で見ることは、やはり意味があると思った。
- ・全体をまとめていくことが、スムーズにできたと感じた。
- ・一般市民がもう一人か二人いてもよいと思う。

②評価対象事業の選定について

- ・見直しが難しいものも含まれていたもので、もう少し幅広く選定がなされることを期待したい。
- ・市の外部団体も対象にしたらよいと思う。
- ・現状でよいと思う。
- ・判断しやすいもの、判断しづらいものがあった。

③その他

- ・協働の手法を導入することで改善も図られうるものが数多くあるので、事業評価と協働の推進を連動させていくことが望ましい。
- ・広い会場のため、声が一部聞きづらかったので、マイクが必要と感じた。
- ・事業の詳細については、知らないことが多く、私自身も勉強になった。
- ・見直しの時期（タイミング）が大事なものとしては、市有バスがあり、運転手の年齢等を十分考慮し検討していただきたい。
- ・市側も努力しているが、まだまだ削減の余地はあったと感じた。市民として「できることは自らやる」という姿勢が必要であるので、このことを分かってもらえるように努力してほしい。